

3 小学校・中学校

平成23年度 住民生活に光をそそぐ交付金
学校図書館のビフォー・アフター！！
「何度でも行きたくなる図書館」へ

ビフォー

H20年度 ワーキング会議での事前アンケートを実施
H22年度 策定委員・ボランティアが町内小中学校図書館を見学

I 人

図書担当者はクラス担任兼務。選書・購入・図書委員会活動の指導などで手がいっぱい、調べ学習の資料提供や読書相談にほとんど応じられない。学校司書の配置、専任の司書教諭などが望まれる。

II 資 料

日焼けした本、汚れた本、情報の古い本、傷みがはげしく修理の必要な本が多い。子どもたちが借りたいような新しい本が少ないこと。

III 電算システム

中学校はシステムを未導入、小学校4校もシステムの不具合などですでに使っていないところ、使っているがシステムが古く更新の時期にきているところなどがある。

IV 開館時間

読書の時間などの授業でのクラス単位の利用。朝・昼・放課後の休み時間の一部しか開けていない。行事などにより開館日数が限られる。

アフター

A 学校図書館と町立図書館の横断検索システムの構築

学校図書館と町立図書館の資料を共有活用するため、共通の電算システムを導入し、家庭や職員室からの検索ができる横断検索システムを構築した。

図書の登録作業は、パソコンルームなどを利用し、短期間に集中して行った。

B 資料の整備充実

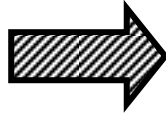
資料を一冊ずつ点検し、情報の古いもの傷みの激しい本は廃棄、本の汚れを取り、フィルムかけや補修を行った。整理基準や背ラベルなどの装備仕様も統一化を図った。また資料費は、交付金により倍額となった。

C 環境整備

「何度でも来たくなる図書館」をめざして、わかりやすく楽しい見出し掲示を作り、カーペットや畳のくつろぎコーナーなどレイアウト変更、家具のリフォーム修繕、カーテンの新調、本の日焼けを防ぐため、UVカットフィルムを窓ガラスに貼った。

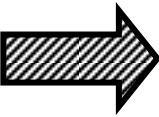
学校図書館のビフォー・アフター
ビジュアル編 ほんの一例です。

ビフォー



平群中学校
レイアウト変更

アフター



小学校の掲示
こんなに
変わりました。



書架の修理中



町内小中学校の蔵書約3万7千冊の本を整理・登録・装備まで、たいへんな作業でしたが、ボランティアの皆さんの協力で期間内に終わることができました。

平成24年度
「使われる学校図書館」へ 学校司書の配置スタート

光交付金で「何度でも行きたくなる図書館」になり、これまで本を手渡す人がいなかった「図書室」から、今度は使われる「学校図書館」を目指します。平群中学校では平成24年5月より町立図書館の司書が、放課後開館支援にでかけるようになりました。続いて学校司書1名が、平成24年10月より北小学校に配置されました。貸出冊数は倍増し、休み時間の学校図書館は、子どもたちで溢れています。

司書のいる学校では、先生方の授業に使う資料の準備依頼も増えてきて、まさに学校教育課程に寄与するための学校図書館として機能するようになってきました。